

# 一般質問

## 本町の行財政改革を問う 「町長の基本的な考え方と改革指針は」



後迫 哲矢議員

行政組織の再編、人件費の削減、民間移管への対応を考慮して

町長

国の三位一体改革は、わが町のみならず各市町村財政を直撃し、平成十六年度予算編成については交付税・補助金等が大幅に削減され、本町においても積立基金を予想以上に取崩して予算編成がされている。

今、県や国の状況を見ると、本町においても大幅な行財政改革を実施しなければ、今後の町政運営は困難と考えるが、現時点における本町の行財政の課題は何か。行財政改革のための基本的な考え方と改革の指針を問う。

国の厳しい税制状況から、今後国からの交付税補助金の大幅な削減があると思う。そのことが大きな課題であり、町としても今後、行財政改革に取りくむため、行政組織の再編、人件費の削減、民間にできるものは民間にゆだね、高齢者社会を見据えた財政のスリム化を考慮しつつ、職員のコスト意識をさらに高めながら事務事業に取りくみ、町長部局をはじめ、各委員会等の定数削減など、聖域のない行財政改革を行なうことを指針として取りくむべきものと考え

事務改善委員会、行財政改革調査専門委員会の設置時期は

ている。

後迫議員

十六年度予算の中に二つの委員会を設置する予算が計上してあるが、その設置時期と構成メンバーは

可能な限り

早い時期に

町長

事務改善委員会は、執行部内の部組織であり、助役をチームリーダーとして各課長等を委員に四月中に設置し、行財政調査専門委員会は、町内の学識経験者十名の構成で

五月中に設置したい。

計画案は三段階に分けて示す考えはないか

後迫議員

計画案はすぐやれるもの、条例改正や選挙に係わるもの、職員の定数など考えられるので、これらを考慮すると短期三年中期五年、長期十年と分け内容を大別して三段階で示す考えはないか。

行財政調査専門委員会の審議を経て示す

町長

行政組織の再編などすぐできるものは早急に、条例改正や選挙をとまなうもの、職員の定数など長期にわたる事項もあると考えるので、行財政改革調査専門委員会の十分な審議を経て、実施時期期間等も含め示したい。

骨子は六カ月以内、総合計画案は一年以内の提示は

後迫議員

行財政改革をできるだけ早く実現するため、骨子は六カ月以内に、総合的な計画は一年以内の提示はできないか。

一年以内を

目標にしたい

町長

行財政改革は必ずやらなければならない課題である。実現可能な計画を二つの委員会の審議を経て一年以内を目標に示したい。

十六年度中にできる行財政改革は

後迫議員

行財政改革を十六年度中に実施できるものがあると考えられるかどうか。

できる改革は早急に

町長

事務事業や行政組織の内早くできるものは早く、本年四月一日より菱田保育所は民間へ運営移管を実施することにしており、その他種々の計画も考えているので、できるものについては早急に実施する。



▲運営移管された菱田保育所